

# 精神科看護師の365日

平成25年度から取り組んでいる日精看のテーマ「365」にちなみ、全国のさまざまな施設で働く精神科看護師の日常を紹介します。

file.11

## 新人ナースの1日

医療法人卯の会新垣病院  
久高翔太さん(24歳・精神科看護歴2年)の場合



者さんとのコミュニケーションの時間です。バイタル測定などしながら、会話を交わし、たとえ短い時間であっても、その方と向きあう姿勢を大切にしたいと思います。「話を聞いてくれてありがとう」「一緒にいてくれて落ち着きますよ」とおっしゃっていただくのもうれしいですが、入院当初は会話も身の回りのことも難しい状況だった患者さんが少しずつ回復していく過程に立ち会っていると実感できるときに、一番やりがいを感じます。1人1人の患者さんの姿から、精神科看護について学ばせていただいています。

### 精神科看護師になっただきっかけ

**両** 親が元精神科看護師だったこともあり、子どものころから職業として身近に感じていました。大学の看護実習で精神科の現場に触れ、やりがいのありそうな仕事だという思いを強くしました。

### やりがいや励みになること

**1** 日の業務の中で特に大事にしているのは11時からの患

久高さんの

### ある日のスケジュール

8:00	出勤、情報収集
8:30	申し送り、朝礼、患者さんとの体操
9:30	病状観察、処置、ADL介助と指導
11:00	売店への付き添いなど
11:45	食事介助、配薬
12:30	昼食休憩
13:30	ミーティング
13:45	病状観察、処置、記録
16:30	申し送り
17:30	退勤

### 今後の目標

**様** 々な背景、問題を抱えて、患者さんは入院してきます。その問題を明確化し、問題解決のため、入院中に自分が何をしてあげられるかを常に考えることを忘れない。そして患者さんの退院後の生活やご家族との関係を支えられる看護師でありたいと考えています。また、「博愛と奉仕の精神」という当院の理念は私自身のモットーでもあり、これからもその精神を忘れることなく、日々の業務に勤しんでいきたいです。

### 現在の仕事内容

昨年春より入職し、男女混合48床の精神科救急病棟に勤務しています。学校で学んだ知識と現場で実際に起こることはやはりギャップがあり、戸惑うこともあります。1つ1つの経験を学ぶ機会と考え、日々奮闘しています。